

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場会社名 株式会社レーサム 上場取引所 東
 コード番号 8890 URL <http://www.raysum.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小町 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 上級執行役員管理本部長 (氏名) 片山 靖浩 TEL 03-5157-8881
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	6,882	△61.3	△474	—	△613	—	△295	—
2020年3月期第2四半期	17,806	△46.8	2,449	△56.3	2,290	△59.3	1,631	△56.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △303百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 1,662百万円 (△52.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△8.07	—
2020年3月期第2四半期	42.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	103,872	45,886	44.2
2020年3月期	91,502	49,040	53.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 45,886百万円 2020年3月期 49,040百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期の配当につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定が困難なため、記載しておりません。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

連結業績予想につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症の拡大が事業活動及び経営成績に与える影響を合理的に見積ることが困難であることから、未定としております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	46,081,400株	2020年3月期	46,081,400株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	9,426,586株	2020年3月期	8,101,586株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	36,599,255株	2020年3月期2Q	38,399,502株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高6,882百万円（前年同四半期比61.3%減）、営業損失474百万円（前年同四半期は2,449百万円の営業利益）、経常損失613百万円（同2,290百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失295百万円（同1,631百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大により社会・経済活動が制限を受ける中、当社グループもその影響を受けた期間でありました。国内の経済活動は徐々に再開へと向かっているものの、依然として予断を許さない状況です。引き続き、長期化のリスクを踏まえながら収束後の迅速な対応に備えてまいります。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

(資産運用事業)

当事業では、富裕層のお客様の資産形成等の目的に沿ったスキームを、個々のお客様ごとに考え、これに対応する将来性のある物件を提供します。取扱商品は、商業、オフィス、マンション、宿泊施設、教育施設、医療施設等と多岐にわたり、価格帯は数億円から百億円を超える規模に及びます。

さらに、将来の社会的課題に応じ家賃負担能力を高められる事業を自ら創り出すオペレーション型の商品開発にも取り組み、コミュニティホテル、高度医療手術センター、地元定着型の飲食店などを立ち上げ、これらを組み込んだ商品を提供しております。

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は4,095百万円（前年同四半期比70.7%減）、セグメント利益は68百万円（同97.0%減）となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大による経済活動制約の影響はあったものの、仕入においては当社として十分な価値をつくれる案件をしっかりと選別し見極めて行い、開発案件や大規模改修が必要な工事については拙速な対応を控え、商品化のタイミングを見計らいながら取り組んでまいりました。

販売面においては、お客様においても慎重に状況を見極められていますが、特に個人のお客様の投資意欲は引き続き高いと感じております。

このような状況下でこそ、本当に必要なものが生き残る時代であるとの認識の元、更に創造のアンテナを研ぎ澄ましてまいります。

(プロパティマネジメント事業)

当事業では、当社から収益不動産を購入され保有されるお客様の不動産保有目的を実現させるため、様々な用途の不動産の最有効活用を追求し、最適なテナントの誘致や各種調整を図り、きめ細かい建物賃貸・管理サービスを行っております。

新型コロナウイルス感染症拡大による社会活動の制約により、家賃延滞や減免の要請、滞納の発生、退去の相談等のリスクを認識していましたが、当第2四半期連結累計期間では顕在化してきておらず、個々のテナント様に対して注意深く丁寧な対応を行ってまいりました。

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は2,240百万円（前年同四半期比13.4%減）、セグメント利益は541百万円（同19.9%減）となりました。

(その他の事業)

当事業では主に、連結子会社である㈱アセット・ホールディングスが「レーサム ゴルフ&スパ リゾート」の運営を、㈱WeBaseがコミュニティ型ホテルの運営を、㈱LIBERTE JAPONがフランス・パリのパティスリー・ブーランジェリーの日本での店舗の運営を行っております。また、㈱レイパワーが環境エネルギー事業としてガスエンジン発電機の開発、製造、販売を行い、㈱ベストメディカルが高度医療の支援事業を担う支援先クリニックの立ち上げ支援を行っております。

当第2四半期連結会計期間(2020年7月～2020年9月)は、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛、移動制限等の影響を第1四半期連結会計期間(2020年4月～2020年6月)程ではないものの、引き続き㈱アセット・ホールディングス、㈱WeBase、㈱LIBERTE JAPONが受けた期間でありましたが、各事業、社会的インフラとしての役割を全うするため、感染拡大の防止策を講じつつ、事業活動は継続し、更なる地域社会との繋がりを強化すべく、出来る事に真摯に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を直接受けたこともあり、546百万円（前年同四半期比55.4%減）となり、セグメント損失は794百万円（前年同四半期は213百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて11,455百万円増加し、92,663百万円となりました。

これは主に、現金及び預金が10,330百万円減少して18,995百万円となり、販売用不動産が15,826百万円増加して46,322百万円、仕掛販売用不動産が5,072百万円増加して22,967百万円となったことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて914百万円増加し、11,209百万円となりました。

上記の結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて12,370百万円増加し、103,872百万円となりました。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて15,524百万円増加し、57,986百万円となりました。

これは主に、新規の資金調達と借入金の返済による差額で借入金の増加17,464百万円、前連結会計年度に係る法人税等の一部納付による未払法人税等の減少427百万円、物件販売に伴う契約手付金減少等による前受金の減少481百万円、当社管理物件の管理契約変更に伴う預り敷金の減少550百万円が主な要因であります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3,154百万円減少し、45,886百万円となりました。これは利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により295百万円減少し、剰余金の配当により1,709百万円減少したこと、自己株式の取得により1,399百万円減少したこと、当社役員及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分により257百万円増加したことが主な要因であります。

自己資本比率は「市況が変化しても価値創出に係わるリスクを取り続けられる水準」として、50%以上を目指す方針に変わりはありませんが、当第2四半期連結会計期間末においては、足元での選別した仕入に加え、相応の現預金水準の確保を優先した調達を行ったことにより、一時的に40%台の自己資本比率となっております。なお、不動産取得に係る借入については引き続き期間10年以上での借入を実現しております。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前連結会計年度末に比べて10,330百万円減少し、18,995百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な変動要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、23,589百万円の減少となりました。主な増加要因は、資産運用事業における売上高4,095百万円に係る資金増加であり、主な減少要因は、資産運用事業における販売用不動産の仕入の支払額21,578百万円と仕掛販売用不動産の開発進展並びに販売用不動産の改修工事代金の支払額3,237百万円、法人税等の支払額748百万円、及び販売費及び一般管理費の支出に係る資金減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、1,068百万円の減少となりました。主な増加要因は、出資金の払戻による収入70百万円であり、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出697百万円、出資金の払込による支出142百万円、関係会社株式の取得による支出133百万円、貸付けによる支出153百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、14,340百万円の増加となりました。主な増加要因は、新規の資金調達と借入金の返済による差額での増加17,464百万円であり、主な減少要因は、自己株式の取得による支出1,399百万円、及び配当金の支払額1,708百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症の拡大がどのようなタイミングで収束に向かうか不透明な状況であり、事業活動及び経営成績に与える影響を合理的に見積ることが困難であることから、引き続き未定としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,325	18,995
営業未収入金	335	270
販売用不動産	30,496	46,322
仕掛販売用不動産	17,894	22,967
前渡金	1,171	1,064
未収還付法人税等	48	367
その他	1,947	2,686
貸倒引当金	△13	△11
流動資産合計	81,207	92,663
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,973	1,943
土地	1,176	1,318
その他（純額）	1,333	2,081
有形固定資産合計	4,483	5,343
無形固定資産		
その他	411	375
無形固定資産合計	411	375
投資その他の資産		
投資有価証券	2,469	1,776
繰延税金資産	1,116	1,506
出資金	80	153
長期貸付金	988	1,135
その他	744	917
投資その他の資産合計	5,399	5,490
固定資産合計	10,294	11,209
資産合計	91,502	103,872

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	1,071	1,491
未払金	1,156	908
未払法人税等	3,414	2,986
前受金	939	457
賞与引当金	10	5
関係会社整理損失引当金	123	123
その他	1,632	1,422
流動負債合計	8,346	7,395
固定負債		
長期借入金	30,106	47,150
流動化調整引当金	0	0
預り敷金	3,915	3,364
その他	93	75
固定負債合計	34,115	50,591
負債合計	42,461	57,986
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	12,160	12,054
利益剰余金	48,553	46,548
自己株式	△11,817	△12,853
株主資本合計	48,996	45,849
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△31	△37
為替換算調整勘定	75	73
その他の包括利益累計額合計	44	36
非支配株主持分	0	0
純資産合計	49,040	45,886
負債純資産合計	91,502	103,872

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	17,806	6,882
売上原価	13,284	5,376
売上総利益	4,521	1,505
販売費及び一般管理費	2,072	1,980
営業利益又は営業損失(△)	2,449	△474
営業外収益		
受取利息	10	14
受取家賃	2	2
受取給付金	—	18
その他	7	5
営業外収益合計	20	41
営業外費用		
支払利息	130	138
財務手数料	5	5
為替差損	36	29
その他	8	7
営業外費用合計	180	180
経常利益又は経常損失(△)	2,290	△613
特別利益		
投資有価証券売却益	127	—
事業譲渡益	—	2
特別利益合計	127	2
特別損失		
関係会社清算損	—	69
特別損失合計	—	69
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	2,417	△680
法人税、住民税及び事業税	650	2
法人税等調整額	135	△387
法人税等合計	785	△384
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,631	△295
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,631	△295

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,631	△295
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△6
為替換算調整勘定	22	△1
その他の包括利益合計	31	△8
四半期包括利益	1,662	△303
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,662	△303
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	2,417	△680
減価償却費	189	189
関係会社清算損益(△は益)	—	69
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	△4
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△1
流動化調整引当金の増減額(△は減少)	0	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	△127	—
受取利息及び受取配当金	△10	△14
支払利息	130	138
売上債権の増減額(△は増加)	△5	64
販売用不動産の増減額(△は増加)	4,203	△15,847
仕掛販売用不動産の増減額(△は増加)	△4,213	△5,072
事業譲渡損益(△は益)	—	△2
前渡金の増減額(△は増加)	236	△158
預け金の増減額(△は増加)	△36	△54
前受金の増減額(△は減少)	38	△481
未払金の増減額(△は減少)	74	△160
未払又は未収消費税等の増減額	620	△379
預り敷金の増減額(△は減少)	△28	△487
その他	△678	167
小計	2,810	△22,717
利息及び配当金の受取額	10	14
利息の支払額	△133	△137
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△2,177	△748
営業活動によるキャッシュ・フロー	509	△23,589
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△52	△697
無形固定資産の取得による支出	△48	—
投資有価証券の売却による収入	500	—
出資金の払込による支出	△156	△142
関係会社株式の取得による支出	—	△133
関係会社の清算による収入	—	10
貸付けによる支出	△202	△153
出資金の払戻による収入	—	70
事業譲渡による支出	—	△56
その他	5	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	46	△1,068
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	△1,000	—
長期借入れによる収入	9,325	19,606
長期借入金の返済による支出	△5,292	△2,141
自己株式の取得による支出	△700	△1,399
配当金の支払額	△1,728	△1,708
その他	△15	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	587	14,340
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6	△13
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,138	△10,330
現金及び現金同等物の期首残高	22,075	29,325
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,213	18,995

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月31日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,592,000株を取得いたしました。また、2020年6月23日開催の取締役会決議に基づき、当社役員及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬として、自己株式267,000株を処分いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,035百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が12,853百万円となっております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I. 前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	資産運用事業	プロパティマネ ジメント事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	13,993	2,585	1,226	17,806	—	17,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	26	10	37	△37	—
計	13,993	2,612	1,237	17,843	△37	17,806
セグメント利益 又は損失（△）	2,270	676	△213	2,733	△283	2,449

(注) セグメント利益又は損失の調整額△283百万円は、各報告セグメントに配分していない、一般管理費等の全社費用△283百万円及びセグメント間取引消去0百万円であります。この調整額を差引いた後のセグメント利益の額は、四半期連結損益計算書に計上している営業利益の額2,449百万円と一致しております。

II. 当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	資産運用事業	プロパティマネ ジメント事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	4,095	2,240	546	6,882	—	6,882
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	73	26	100	△100	—
計	4,095	2,313	573	6,982	△100	6,882
セグメント利益 又は損失（△）	68	541	△794	△183	△290	△474

(注) セグメント利益又は損失の調整額△290百万円は、各報告セグメントに配分していない、一般管理費等の全社費用△290百万円及びセグメント間取引消去0百万円であります。この調整額を差引いた後のセグメント利益の額は、四半期連結損益計算書に計上している営業損失の額△474百万円と一致しております。